



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月14日

上場会社名 株式会社セキュアヴェイル 上場取引所 東
 コード番号 3042 URL http://www.secuavail.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米今 政臣
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部マネージャ (氏名) 工内 健太郎 TEL 06-6136-0026
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	281	2.7	△2	—	△5	—	△5	—
2020年3月期第1四半期	273	38.0	5	—	5	—	△6	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △5百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △6百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△1.61	—
2020年3月期第1四半期	△1.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,365	1,038	76.0
2020年3月期	1,123	766	67.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 1,038百万円 2020年3月期 760百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

新型コロナウイルス感染症拡大による当社グループ業績への影響については現在算定中であり、2021年3月期の連結業績予想は現時点で未定とさせていただきます。今後、算定が終わり次第速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名） 除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	3,845,000株	2020年3月期	3,382,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	224株	2020年3月期	224株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	3,717,787株	2020年3月期1Q	3,381,776株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・業績予想の前提条件及びその他関連する事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、その活動に大きく制約を受けており、極めて深刻な状況となりました。緊急事態宣言解除後から、経済活動が順次再開されておりますが、感染収束が見通せない中では段階的な再開に留まっており、正常化までの見通しは極めて不透明な状況です。

当社グループの主たるビジネスである情報セキュリティ業界では、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として「三密」回避のため導入されたテレワークや、急速に普及したコミュニケーションツールに対する有効的な情報セキュリティ対策がこれまで以上に関心を集めております。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間は、受注活動に大きく制限を受けておりましたので、強みとしていたストック型サービス(セキュリティ運用監視サービス)の契約更新に優先的に取組みました。しかしながら、受託開発業務におきましては、生産性の向上や効率化を目的とした投資需要は高かったものの、先行き不透明感を受けての新規システム投資の延期、凍結等による受注の減少や、就業環境の変更により一部案件での収益性の低下が見られました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高281,209千円(前年同期比2.7%増)、営業損失2,757千円(前年同四半期は5,184千円の営業利益)となりました。経常損失は、子会社において繰上返済手数料を計上したことにより5,481千円(前年同四半期は5,730千円の経常利益)となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は5,993千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失6,107千円)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

①情報システム事業

当セグメントの主力である情報セキュリティにつきましては、製品売上が減少したものの、減少幅をストック型サービス(セキュリティ運用監視サービス)が上回ったことから、売上高は248,979千円(前年同期比3.5%増)となりました。セグメント利益につきましては、受託開発業務における収益性の低下により16,836千円(前年同期比40.8%減)となりました。

②人材派遣事業

人材派遣事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、やや減少し、売上高は32,230千円(前年同期比3.1%減)となりましたが、経費支出の抑制により、セグメント利益は1,183千円(前年同期比6.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,171,985千円となり、前連結会計年度末に比べ245,512千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が288,317千円増加したことに対し、売掛金が45,513千円減少したことによるものであります。

固定資産は193,798千円となり、前連結会計年度末に比べ3,229千円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が1,615千円、無形固定資産が1,667千円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は1,365,784千円となり、前連結会計年度末に比べ242,282千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は247,766千円となり、前連結会計年度末に比べ60,507千円減少いたしました。これは主に、未払費用が2,620千円増加したことに対し、買掛金が14,113千円、未払金が17,174千円、未払法人税等が8,979千円、未払消費税等13,468千円、賞与引当金が8,365千円減少したことによるものであります。

固定負債は79,773千円となり、前連結会計年度末に比べ30,931千円増加しました。これは主に、長期借入金が28,567千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は327,539千円となり、前連結会計年度末に比べ29,576千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,038,244千円となり、前連結会計年度末に比べ271,858千円増加いたしました。これは主に、資本金が141,909千円、資本剰余金が141,909千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は76.0%(前連結会計年度末は67.7%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年5月14日付「2020年3月期決算短信」にて公表しましたとおり、現時点において新型コロナウイルス感染症の収束時期および当社グループへの影響を合理的に算定することが困難なことから未定としております。今後当社グループの事業活動への影響度合いを見極めつつ、業績予想の算定が可能となった時点で開示させていただく予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	687,349	975,666
売掛金	188,589	143,076
仕掛品	4,063	8,733
原材料及び貯蔵品	294	294
前渡金	31,838	30,651
前払費用	13,278	12,976
その他	1,059	587
流動資産合計	926,473	1,171,985
固定資産		
有形固定資産	33,651	32,035
無形固定資産		
のれん	55,191	53,568
その他	266	221
無形固定資産合計	55,458	53,790
投資その他の資産	107,919	107,972
固定資産合計	197,028	193,798
資産合計	1,123,502	1,365,784
負債の部		
流動負債		
買掛金	38,424	24,311
1年内返済予定の長期借入金	13,252	7,500
未払金	25,989	8,814
未払費用	40,768	43,388
未払法人税等	11,569	2,590
未払消費税等	31,046	17,577
前受金	119,732	119,180
預り金	4,534	9,812
賞与引当金	22,955	14,589
流動負債合計	308,274	247,766
固定負債		
長期借入金	15,683	44,250
長期末払金	5,000	5,000
退職給付に係る負債	20,133	22,498
資産除去債務	8,024	8,024
固定負債合計	48,841	79,773
負債合計	357,115	327,539
純資産の部		
株主資本		
資本金	485,670	627,580
資本剰余金	181,873	323,782
利益剰余金	91,917	85,924
自己株式	△123	△123
株主資本合計	759,338	1,037,163
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	829	1,081
その他の包括利益累計額合計	829	1,081
新株予約権	6,219	—
純資産合計	766,386	1,038,244
負債純資産合計	1,123,502	1,365,784

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	273,921	281,209
売上原価	167,743	170,162
売上総利益	106,177	111,046
販売費及び一般管理費	100,993	113,804
営業利益又は営業損失(△)	5,184	△2,757
営業外収益		
受取利息	29	27
受取配当金	3	—
持分法による投資利益	—	214
雑収入	705	145
営業外収益合計	738	386
営業外費用		
支払利息	192	353
繰上返済手数料	—	2,757
雑損失	0	0
営業外費用合計	193	3,110
経常利益又は経常損失(△)	5,730	△5,481
特別利益		
新株予約権戻入益	—	200
特別利益合計	—	200
特別損失		
減損損失	6,545	—
特別損失合計	6,545	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△814	△5,281
法人税、住民税及び事業税	1,857	417
法人税等調整額	3,435	294
法人税等合計	5,292	711
四半期純損失(△)	△6,107	△5,993
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,107	△5,993

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△6,107	△5,993
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△220	252
その他の包括利益合計	△220	252
四半期包括利益	△6,328	△5,741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,328	△5,741
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I. 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

II. 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

新株予約権の行使による新株式発行

当社は、新株予約権の行使に伴う新株の発行により、当第1四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ141,909千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が627,580千円、資本剰余金が323,782千円となっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積り)

当社では、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が現状、来年度上期まで継続すると仮定して、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による影響には不確定要素が多く、将来の業績に影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結財務諸表 計上額(注) 2
	情報システム事業	人材派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	240,651	33,269	273,921	—	273,921
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	1,475	1,475	△1,475	—
計	240,651	34,745	275,396	△1,475	273,921
セグメント利益	28,460	1,116	29,577	△24,392	5,184

(注) 1 セグメント利益の調整額△24,392千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「情報システム事業」において6,545千円であります。

II. 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結財務諸表 計上額(注) 2
	情報システム事業	人材派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	248,979	32,230	281,209	—	281,209
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	248,979	32,230	281,209	—	281,209
セグメント利益	16,836	1,183	18,019	△20,777	△2,757

(注) 1 セグメント利益の調整額△22,123千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。